

全東京写真連盟 撮影会写真コンクール

入賞作品集



審査対象 2022年新人モデルお披露目撮影会

撮影日 2022年03月06日

審査日 2022年05月05日

審査員: HARUKI先生



金賞
「フェミニン」
高橋 壯太 様
モデル 桜井 らら

審査員：HARUKI先生 講評

新人モデルさんの撮影会というものは毎年楽しみです。フレッシュな雰囲気を感じられるのと、これから大きく化けるかもしれないことに期待が溢れるものです。金賞受賞作はモデルさんの初々しい若さを感じられる柔らかな描写作品ですがデータを拝見するとミノルタの旧レンズのソフトフォーカスもあるようですが、このシチュエーションにうまくハマりました。陽射しが落ちる小径のようなシチュエーションの中で清楚な衣装のまま自宅リビングで寛いだかのようなポーズに可愛らしくて好感持てる1コマです。



銀賞
「光と影」
佐藤 和明 様
モデル 山下 明穂

審査員：HARUKI先生 講評

水色と紫色のタイルで構成された壁面がある中で水色側の背景にしたのは正解でしたね！！ 公園での撮影会では樹々や池、オブジェなどだけでなく公衆トイレなどの壁面も意外と使えるものなのです。壁面裏手の樹木から伸びた葉からの木漏れ日が降り注ぐ中、明るい地面からの照り返しとレフ板からの補助効果で斜め下からの薄明かりがちょうど良い感じに照らされています。レフ板の効果もこれより弱いと効果がなくこれ以上強ければいかにも“レフ板を当てました”というマイナス効果となりますが良いバランスです。衣装も似合っていてモデルさんの清楚なイメージにピッタシでした☆



銅賞
「春の予感」
鈴木 幸彦 様
モデル Chiori

審査員：HARUKI先生 講評

ボケた背景の選び方などから街中でのスナップショットのようにも見える“自然感”が出ていますが、望遠レンズの開放絞りでモデルさん以外にはボカしての王道ポートレート作品です。今回コチラの可愛いモデルさんを撮影した作品は多数ありましたが、カメラマンからの要求なのかやや硬い感じの作品応募が目立っておりましたがコチラの1コマは同じ条件下からのたくさんの応募作品の中でも自然な表情とポーズが目を惹きました。白いカーディガンが背景の白に溶け込んでしまったのが惜しいですね。これからの伸びしろが期待されるモデルさんだと思います。



入選
「かがやく時」
菅原 道久 様
モデル 桜美 さやか



入選
「シャボンの笑顔」
石川 玲 様
モデル HIMECA



入選
「刹那」
高橋 敏之 様
モデル 山下 明穂



入選
「まなざし」
新井 潔 様
モデル Chiori



入選
「導くライン」
矢島 彰 様
モデル Chiori



佳作
「Chioriさん」
日向野 遼平 様
モデル Chiori



佳作
「暖かな春の陽」
深野 武雄 様
モデル 桜井 らら



佳作
「ニューフェース」
荒井 秀雄 様
モデル 戸花 桜



佳作
「透き通る風」
小倉 良二 様
モデル 山下 明穂



佳作
「笑顔の君」
中山 静男 様
モデル 桜美 さやか



佳作
「さりげなく」
小幡 大輔 様
モデル Chiori



佳作
「光るトンネル」
小野寺 基之 様
モデル HIMECA



佳作
「風に吹かれて」
金澤 義夫 様
モデル 山下 明穂



佳作
「いつかできるから今日できる」
星野 祐一 様
モデル 青田 幸



佳作
「笑顔」
三井 直人 様
モデル 瓦林 桜



次点
「赤いセーター」
白鳥 政雄 様
モデル 桜美 さやか



次点
「もうすぐ春ですね」
芝本 勲 様
モデル 山下 明穂



次点
「陽のあたる場所」
滝本 憲一郎 様
モデル 山下 明穂



次点
「リーフ」
中山 昌幸 様
モデル Chiori



次点
「天真爛漫」
山田 栄一 様
モデル 桜井 らら



次点
「気になる」
斎藤 貴生 様
モデル 桜井 らら



次点
「寄り添う」
鵜飼 典彦 様
モデル HIMECA



次点
「春の笑顔」
内藤 勝之 様
モデル 青田 幸



次点
「弾む季節」
岸野 孝博 様
モデル 桜井 らら



次点
「緑に囲まれて」
山本 和也 様
モデル Chiori

【ちょっとした努力で人との差が出るかも】

皆さん、こんにちは。

今回の審査は新人モデル撮影会と臨海副都心撮影会でした。新人モデルさん撮影会、今年も素敵な新人モデルさんが多く、臨海副都心撮影会もなかなかの力作揃いでこちらもセレクトの段階では苦しい選択でした。いつものことでもあるのですが、まずは全応募作品からプリントの良し悪しで絞ります。そして徐々に作品の内容へと絞られていくのですが最後の10数点まで残った作品はどれも素晴らしくて点数にしたらほぼ同列なのです。それじゃあ何故、金・銀・銅・入選と違いが出るのか？となりますよね。そこは個性です。皆さん同じ条件で撮影されていても、ほんのちょっとしたアングル（上下左右）の差、使用レンズなど焦点距離やフレーミング（切り取り）の差、そしてシャッターチャンスのタイミング（瞬間）などによって同じ場所同じモデル同じ光線でも全てが違ってきます。最終的には同じ条件でも人とは違った視点から個性を発揮できるかどうか大切な要素となります。次回撮影会ではカメラ位置を数センチ変えただけでも違いが出ることを意識して撮影に臨んでください☆

HARUKI